

INTERVIEW インタビュー

株式会社Sohwa & Sophia Technologies

代表取締役社長

塩田 勝一

長年にわたりパナソニックでカーナビ開発のリーダー、事業責任者を務めた経験を活かし、2025年1月にSohwa & Sophia Technologiesへ入社、同年6月に代表取締役に就任。AI社会の到来を見据え、次世代技術の開発を牽引するとともに、社員一人ひとりが成長とやりがいを感じられる組織づくり に情熱を注ぐリーダー。



◆ どういう会社なのか？

私たちは、1983年の創業以来、皆さんの身の回りにある様々な電気製品の「ものづくり」を支えてきました。具体的には、テレビやスマートフォン、そして自動車や人工衛星といった製品に必ずと言っていいほど入っている『プリント基板』の設計・開発、それから製品を動かすための『ハードウェア開発』『ソフトウェア開発』を専門としています。普段は目に見えない部分ですが、実は社会を動かす大切な基盤をつくっています。

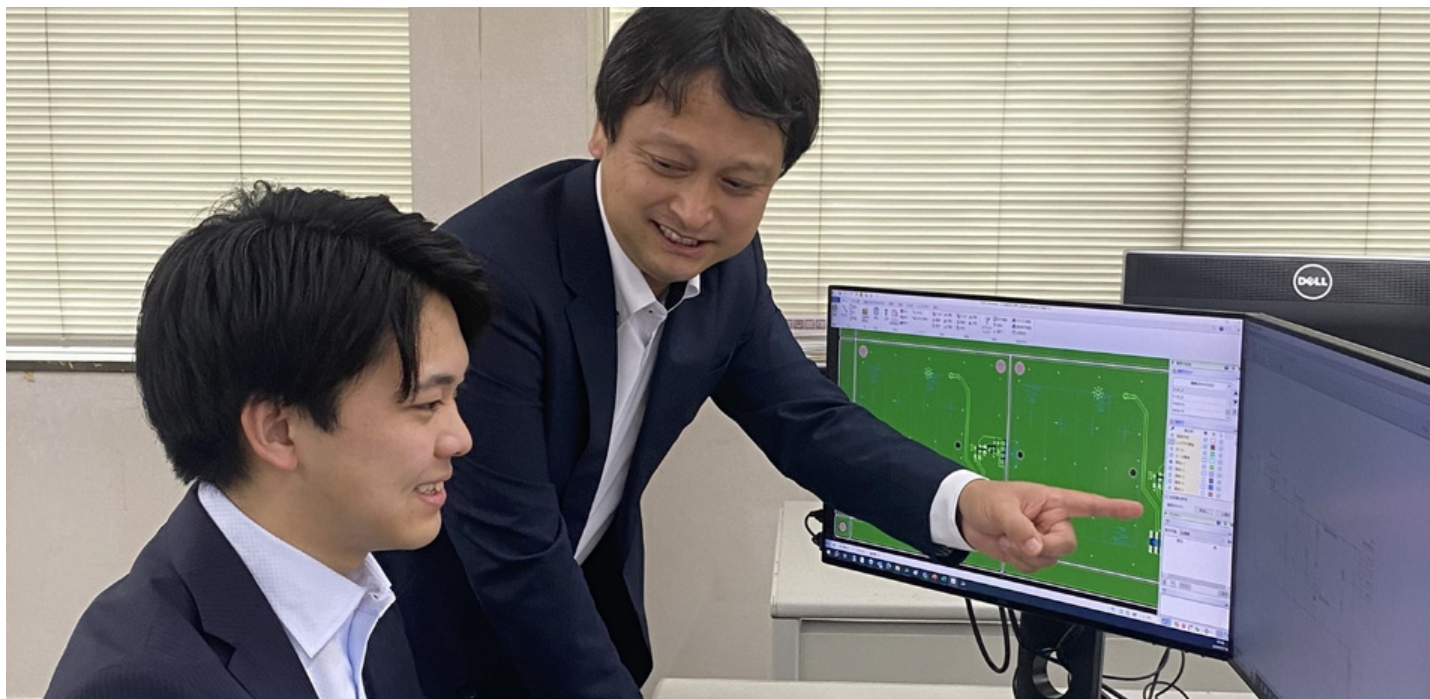
黒田グループとデンソーという大株主様からのご支援もあり、非常に安定した経営基盤の上で、社員一人ひとりが安心して仕事に取り組める環境が整っています。また、自社工場を持たない『ファブレス』というビジネスモデルなので、多種多様な製品の設計・開発・量産に機動力高く対応できるため、社員にとっても常に新しい技術に触れ、飽きることなく成長できる環境だと思います。

◆ 他にはない魅力

私自身ですが、社員が一番やりがいを感じるのは、やはり自分たちが手掛けたものが、身近な製品や社会のインフラとして役立っている実感できる瞬間ですね。普段は目につかないプリント基板の設計は、エンジニア一人ひとりの「作品」であり、「アートワーク」とも言えるんです。同じ仕様でも部品の配置や配線は設計者によって異なり、個性が光る「ものづくり」の面白さがありますね。

私達の「アートワーク」は、家電、自動車、人工衛星など幅広い製品を動かす基盤となり、その貢献に大きな喜びと誇りを感じます。また、常に新しい技術に挑戦し自分を成長させられる環境があり、大手では得難い自分たちの裁量で臨機応変に課題を解決する面白さも大きなやりがい。社員は皆さん、『ものづくり』の面白さや社会への貢献を日々実感しながら、真摯に取り組んでくれています。

INTERVIEW インタビュー



◆今後のビジョンについて教えてください

今後5年、10年を見据えたビジョンとして、これまでの自動車産業の分野に加え、AIやコンピュータビジョンといった最先端技術分野での事業拡大を目指しています。特に、画像や映像から情報を読み取り理解する『コンピュータビジョンAI』は、私たちの得意とする基板設計やハードウェア・ソフトウェア開発が大きく貢献できる領域だと考えております。安定した既存事業を基盤として、新しい技術と市場を開拓していくことで、社会の幅広いニーズに応え、未来を創造する企業として成長していきたいと思っています。

◆就活生へのメッセージ

就職活動中の皆さん、当社は、皆さんの『ものづくりやエンジン・アリングへの強い好奇心』、そして『社会の役に立ちたい』という強い思いを歓迎します。当社には、様々な製品開発に携わりながら、幅広い技術を積極的に学び、自身を成長させられる環境があります。大手にはない『機動力』を活かし、自ら考え、臨機応変に課題解決に取り組むことに面白さを感じる方には、きっと活躍の場があるはずです。私たちと一緒に、社会を動かす未来の製品を創り、会社を、そして社会をより良い方向へ動かしていきたいませんか。皆さんの挑戦をお待ちしています！



Sohwa & Sophia
Technologies

採用情報・説明会
の詳細はこちら！▼



採用担当：齋藤木実
TEL：044-981-5280